



Title	学会消息
Author(s)	
Citation	大阪大学経済学. 2016, 66(1), p. 74-110
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/57211
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

学 会 消 息

(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

人 事 異 動

Pierre-Yves Donzé は、平成 27 年 4 月 1 日付けをもって京都大学白眉センター特定准教授から本研究科准教授に採用された。（歴史分析講座）

勝又壮太郎は、平成 27 年 4 月 1 日付けをもって長崎大学経済学部准教授から本研究科准教授に採用された。（経営情報講座）

高橋慎は、平成 27 年 4 月 1 日付けをもって大阪大学金融・保険教育研究センター特任助教（常勤）から本研究科講師に採用された。（理論分析講座）

村宮克彦講師は、平成 27 年 4 月 1 日付けをもって本研究科准教授に昇任した。（ビジネス講座）

大西匡光教授は、平成 27 年 8 月 25 日付けをもって本学研究科長・本学部長の任期を満了した。

堂目卓生教授は、平成 27 年 8 月 26 日付けをもって本学研究科長・本学部長に就任した。（任期は 2 年）

小暮克夫は、平成 27 年 10 月 1 日付けをもって一橋大学経済研究所附属経済制度研究センター講師から本研究科特任講師（常勤）に採用された。

椎葉淳准教授は、平成 28 年 1 月 1 日付けをもって本研究科教授に昇任した。（モデル解析講座）

西村幸浩准教授は、平成 28 年 1 月 1 日付けをもって本研究科教授に昇任した。（政策分析講座）

高山正樹教授（経営情報講座）は、平成 28 年 3 月 31 日付けをもって本研究科を定年退職した。

澤井実教授（歴史分析講座）は、平成 28 年 3 月 31 日付けをもって本研究科を退職し、南山大学経営学部教授となった。

三道弘明教授（モデル解析講座）は、平成 28 年 3 月 31 日付けをもって本研究科を退職し、関西学院大学総合政策学部教授となった。

佐藤泰裕准教授（理論分析講座）は、平成 28 年 3 月 31 日付けをもって本研究科を退職し、東京大学大学院経済学研究科准教授となった。

尾崎雅彦講師（応用経済講座）は、平成 28 年 3 月 31 日付けをもって本研究科を退職し、大和大学政治経済学部教授となった。

中田有吾寄附講座助教（「イノベーション・マネジメント」寄附講座）は、平成 28 年 3 月 31 日付けをもって本研究科を退職した。

金澤照美助手（留学生相談室）は、平成 28 年 3 月 31 日付けをもって本研究科を定年退職した。

研 究 交 流

渡辺泰明特任教授は、ビジネス・イノベーションに関する研究打ち合わせのため、アメリカ合衆国へ出張を命ぜられ、平成 27 年 5 月 1 日に出発し、同月 11 日に帰国した。

小林敏男教授は、ヨーロッパにおけるオープンイノベーション実態調査のため、ドイツ連邦共和国へ出張を命ぜられ、平成 27 年 5 月 3 日に出発し、同月 11 日に帰国した。

西原理准教授は、13th Viennese Workshop on Optimal Control and Dynamic Gamesにおいて研究発表および情報収集を行うため、オーストリア共和国へ出張を命ぜられ、平成 27 年 5 月 11 日に出発し、同月 18 日に帰国した。

Pierre-Yves Donzé准教授は、フランスの時計産業に関する史料調査および経済史研究の会議における研究発表のため、フランス共和国へ出張を命ぜられ、平成 27 年 5 月 19 日に出発し、同月 25

日に帰国した。

西原理准教授は、The Oligo Workshop 2015において研究発表および情報収集を行うため、スペインへ出張を命ぜられ、平成 27 年 5 月 31 日に出発し、6 月 5 日に帰国した。

安田洋祐准教授は、IDPG 2015 Workshopにおいて研究発表および情報収集を行うため、スペインへ出張を命ぜられ、平成 27 年 6 月 3 日に出発し、同月 8 日に帰国した。

佐々木勝教授は、European Society for Population Economics 2015において研究発表や情報収集を行うため、トルコ共和国へ出張を命ぜられ、平成 27 年 6 月 15 日に出発し、同月 22 日に帰国した。

福田祐一教授は、WFA 2015 大会において債券リスクプレミアムの変動要因に関する情報収集を行うため、アメリカ合衆国へ出張を命ぜられ、平成 27 年 6 月 16 日に出発し、同月 22 日に帰国した。

西原理准教授は、19th Annual International Real Options Conferenceにおいて研究発表および情報収集を行うため、ギリシャ共和国へ出張を命ぜられ、平成 27 年 6 月 16 日に出発し、同月 22 日に帰国した。

松村真宏准教授は、Informs Marketing Science 国際会議に参加するため、アメリカ合衆国へ出張を命ぜられ、平成 27 年 6 月 17 日に出発し、同月 22 日に帰国した。

関口倫紀教授は、Asia Academy of Management, Association of Japanese Business Studies および Academy of International Businessにおいて研究発表や情報収集を行うため、香港、インドへ出張を命ぜられ、平成 27 年 6 月 21 日に出発し、同月 30 日に帰国した。

Pierre-Yves Donzé准教授は、Business History Conferenceにおいて研究発表を行うため、アメリカ合衆国へ出張を命ぜられ、平成 27 年 6 月 23 日に出発し、同月 29 日に帰国した。

戎谷梓助教は、AJBS 2015において研究発表や情報収集を行うため、インドへ出張を命ぜられ、平成 27 年 6 月 25 日に出発し、同月 28 日に帰国した。

西原理准教授は、16th Conference of the Applied Stochastic Models and Data Analysis International Societyにおいて研究発表および情報収集を行うため、ギリシャ共和国へ出張を命ぜられ、平成 27 年 6 月 29 日に出発し、7 月 6 日に帰国した。

Wirawan Dony Dahana准教授は、BAI 研究大会において研究報告を行うため、マカオへ出張を命ぜられ、平成 27 年 7 月 7 日に出発し、同月 9 日に帰国した。

大西匡光教授は、27th European Conference on Operational Researchにおいて研究発表および情報収集を行うため、オランダ王国へ出張を命ぜられ、平成 27 年 7 月 10 日に出発し、同月 15 日に帰国した。

西原理准教授は、27th European Conference on Operational Researchにおいて研究発表および情報収集を行うため、連合王国へ出張を命ぜられ、平成 27 年 7 月 11 日に出発し、同月 16 日に帰国した。

恩地一樹准教授は、税と企業行動の研究に関する報告、資料・情報収集および資料閲覧のため、オーストラリア連邦へ出張を命ぜられ、平成 27 年 8 月 1 日に出発し、10 月 4 日に帰国した。

深尾葉子准教授は、黄砂発生地域における表層土壤回復のための社会的経済的アプローチの研究に関する現地調査およびフィールドワークのため、中華人民共和国へ出張を命ぜられ、平成 27 年 8 月 10 日に出発し、同月 19 日に帰国した。

小林敏男教授は、ヨーロッパにおける产学連携に関する研究調査のため、フランス共和国へ出張を命ぜられ、平成 27 年 8 月 11 日に出発し、同月 19 日に帰国した。

西原理准教授は、European Finance Association 42nd Annual Meeting および International Conference on Operations Researchにおいて研究発表・情報収集を行うため、オーストリア共和国へ出張を命ぜられ、平成 27 年 8 月 17 日に出発し、9 月 6 日に帰国した。

西村幸浩准教授は、IIPF 2015、EEA 2015における研究報告および租税競争に関する共同研究のため、ベルギー王国へ出張を命ぜられ、平成 27 年 8 月 17 日に出発し、9 月 18 日に帰国した。

Wirawan Dony Dahana准教授は、消費者調査に関する打ち合わせおよび経済統計資料閲覧のため、インドネシア共和国へ出張を命ぜられ、平成 27 年 8 月 18 日に出発し、同月 21 日に帰国した。

村宮克彦准教授は、東日本大震災時の株価クラッシュと財務報告の不透明性の研究に関する情報収集および意見交換を行うため、アメリカ合衆国へ出張を命ぜられ、平成 27 年 8 月 20 日に出発し、11 月 16 日に帰国した。

Pierre-Yves Donzé准教授は、時計産業に関する史料調査のため、スイス連邦へ出張を命ぜられ、平成 27 年 8 月 23 日に出発し、同月 31 日に帰国した。

安田洋祐准教授は、ゲーム理論に関する研究打ち合わせおよびEARIE 2015における研究発表・情報収集のため、ドイツ連邦共和国へ出張を命ぜられ、平成 27 年 8 月 25 日に出発し、9 月 1 日に帰国した。

葛城政明准教授は、コンファレンス参加および資料・研究情報収集のため、連合王国へ出張を命ぜられ、平成 27 年 9 月 1 日に出発し、同月 14 日に帰国した。

佐々木勝教授は、大阪大学大学院経済学研究科の広報活動を行うため、ベトナム社会主義共和国へ出張を命ぜられ、平成 27 年 9 月 5 日に出発し、同月 11 日に帰国した。

大屋幸輔教授は、現地研究者との研究打ち合わせのため、アメリカ合衆国へ出張を命ぜられ、平成 27 年 9 月 12 日に出発し、同月 17 日に帰国した。

西原理准教授は、Second NUS-UParis Diderot Workshop on Quantitative Financeにおいて研究発表および情報収集を行うため、フランス共和国へ出張を命ぜられ、平成 27 年 9 月 13 日に出発し、同月 16 日に帰国した。

高橋慎講師は、学位論文に関する研究打ち合わせのため、アメリカ合衆国へ出張を命ぜられ、平成 27 年 9 月 13 日に出発し、同月 19 日に帰国した。

鳩澤歩教授は、19-20 世紀ドイツ社会史・鉄道史に関する資料調査・収集のため、ドイツ連邦共和国へ出張を命ぜられ、平成 27 年 9 月 13 日に出発し、同月 22 日に帰国した。

許衛東准教授は、新しい海のシルクロードの研究に関する資料の情報収集・資料閲覧、南シナ海のインフラ開発の実態に関する現地調査・フィールドワークおよびトンキン湾の航路の共同運営事業に関する現地調査・フィールドワークのため、中華人民共和国へ出張を命ぜられ、平成 27 年 9 月 14 日に出発し、同月 28 日に帰国した。

山本千映教授は、生活時間調査および女性労働に関する研究打ち合わせ・関連史料調査のため、連合王国へ出張を命ぜられ、平成 27 年 9 月 14 日に出発し、同月 29 日に帰国した。

友部謙一教授は、乳児死亡研究資料 (Maternal and Infant Mortality archive material) の閲覧・筆写・複写・撮影のため、連合王国へ出張を命ぜられ、平成 27 年 9 月 22 日に出発し、同月 30 日に帰国した。

阿部顕三教授は、国際輸送を含む貿易理論に関する研究打ち合わせのため、カナダへ出張を命ぜられ、平成 27 年 9 月 27 日に出発し、同月 30 日に帰国した。

福田祐一教授は、債券リスクプレミアムの変動要因に関する情報収集および意見交換のため、カナダへ出張を命ぜられ、平成 27 年 9 月 27 日に出発し、同月 30 日に帰国した。

中川功一准教授は、SMS annual conferenceにおいて研究発表および情報収集を行うため、アメリカ合衆国へ出張を命ぜられ、平成 27 年 10 月 2 日に出発し、同月 8 日に帰国した。

山本千映教授は、日本留学フェアにおいて大阪大学大学院経済学研究科の広報活動を行うため、モンゴル国へ出張を命ぜられ、平成 27 年 10 月 8 日に出発し、同月 12 日に帰国した。

西原理准教授は、17th EBES Conference Veniceにおいて研究発表および情報収集を行うため、イ

タリア共和国へ出張を命ぜられ、平成 27 年 10 月 14 日に出発し、同月 19 日に帰国した。

関口倫紀教授は、EAMSA 年次学会において意見交換および情報収集を行うため、連合王国へ出張を命ぜられ、平成 27 年 10 月 27 日に出発し、11 月 2 日に帰国した。

山本千映教授は、大阪大学大学院経済学研究科の広報活動を行うため、ベトナム社会主義共和国へ出張を命ぜられ、平成 27 年 10 月 29 日に出発し、11 月 3 日に帰国した。

渡辺泰明特任教授は、ビジネス・イノベーションに関連するセミナーにおいて情報収集を行うため、アメリカ合衆国へ出張を命ぜられ、平成 27 年 10 月 30 日に出発し、11 月 9 日に帰国した。

中川功一准教授は、新興国における異文化経営のあり方の研究に関する現地調査およびフィールドワークのため、インドネシア共和国へ出張を命ぜられ、平成 27 年 11 月 1 日に出発し、同月 5 日に帰国した。

Pierre-Yves Donzé准教授は、スイス・日本の比較経営史・産業史に関する研究打ち合わせおよび Appreciating innovation across countries における研究報告のため、スイス連邦、デンマーク王国へ出張を命ぜられ、平成 27 年 11 月 1 日に出発し、同月 8 日に帰国した。

竹内惠行准教授は、統計学史の研究に関する資料収集のため、連合王国へ出張を命ぜられ、平成 27 年 11 月 3 日に出発し、同月 9 日に帰国した。

高山正樹教授は、多民族共生実態に関する資料収集のため、連合王国へ出張を命ぜられ、平成 27 年 11 月 3 日に出発し、同月 10 日に帰国した。

勝又壯太郎准教授は、PDMA Research Forum において研究発表を行うため、アメリカ合衆国へ出張を命ぜられ、平成 27 年 11 月 6 日に出発し、同月 11 日に帰国した。

佐藤泰裕准教授は、62nd Annual North American Meetings of the Regional Science Association International において研究報告を行うため、アメリカ合衆国へ出張を命ぜられ、平成 27 年 11 月 10 日に出発し、同月 16 日に帰国した。

山本和博准教授は、62nd Annual North American Meetings of the Regional Science Association International において研究発表および情報収集を行うため、アメリカ合衆国へ出張を命ぜられ、平成 27 年 11 月 11 日に出発し、同月 16 日に帰国した。

戎谷梓助教は、国際的な資源評価ソフト構築に関する研究打ち合わせおよび第 3 回 iBEGIN 学会における研究発表・情報収集のため、アメリカ合衆国へ出張を命ぜられ、平成 27 年 11 月 11 日に出発し、同月 18 日に帰国した。

松村真宏准教授は、ICDM 2015 に参加するため、アメリカ合衆国へ出張を命ぜられ、平成 27 年 11 月 13 日に出発し、同月 19 日に帰国した。

西原理准教授は、6th Annual Financial Market Liquidity Conference において研究発表および情報収集を行うため、ハンガリーへ出張を命ぜられ、平成 27 年 11 月 18 日に出発し、同月 21 日に帰国した。

恩地一樹准教授は、NTA 学会における研究発表・情報収集および税と合併に関する研究打ち合わせのため、アメリカ合衆国へ出張を命ぜられ、平成 27 年 11 月 18 日に出発し、同月 28 日に帰国した。

高橋慎講師は、研究発表のため、アメリカ合衆国へ出張を命ぜられ、平成 27 年 11 月 19 日に出発し、同月 23 日に帰国した。

小林敏男教授は、技術経営ワークショップ参加および研究打ち合わせのため、台湾へ出張を命ぜられ、平成 27 年 11 月 20 日に出発し、同月 23 日に帰国した。

阿部顕三教授は、多国籍企業の戦略と貿易政策に関する研究打ち合わせのため、オーストラリア連邦へ出張を命ぜられ、平成 27 年 11 月 27 日に出発し、同月 29 日に帰国した。

Pierre-Yves Donzé准教授は、国際比較経営史についての研究打ち合わせ、医療ビジネスの経営史

についてのワークショップ参加および時計産業史に関する史料調査のため、スペインへ出張を命ぜられ、平成 27 年 11 月 29 日に出発し、12 月 6 日に帰国した。

堂目卓生教授は、第 3 回ジョイントワークショップ・部局間協定署名式において研究報告および情報収集を行うため、タイ王国へ出張を命ぜられ、平成 27 年 11 月 30 日に出発し、12 月 3 日に帰国した。

福重元嗣教授は、第 3 回ジョイントワークショップ・部局間協定署名式において研究報告および情報収集を行うため、タイ王国へ出張を命ぜられ、平成 27 年 11 月 30 日に出発し、12 月 3 日に帰国した。

佐々木勝教授は、第 3 回ジョイントワークショップ・部局間協定署名式において研究報告および情報収集を行うため、タイ王国へ出張を命ぜられ、平成 27 年 11 月 30 日に出発し、12 月 3 日に帰国した。

安田洋祐准教授は、第 3 回ジョイントワークショップ・部局間協定署名式において研究報告および情報収集を行うため、タイ王国へ出張を命ぜられ、平成 27 年 11 月 30 日に出発し、12 月 3 日に帰国した。

大屋幸輔教授は、9th International Conference on Computational and Financial Econometrics (CFE 2015)においてボラティリティ推計に関する研究発表および情報収集を行うため、連合王国へ出張を命ぜられ、平成 27 年 12 月 11 日に出発し、同月 16 日に帰国した。

高橋慎講師は、9th International Conference on Computational and Financial Econometrics (CFE 2015)において研究発表および情報収集を行うため、連合王国へ出張を命ぜられ、平成 27 年 12 月 11 日に出発し、同月 16 日に帰国した。

西原理准教授は、Paris Financial Management Conference および 13th International Paris Finance Meetingにおいて研究発表・情報収集を行うため、フランス共和国へ出張を命ぜられ、平成 27 年 12 月 13 日に出発し、同月 19 日に帰国した。

友部謙一教授は、上海セミナーに関する打ち合わせのため、中華人民共和国へ出張を命ぜられ、平成 27 年 12 月 16 日に出発し、同月 18 日に帰国した。

阿部顕三教授は、文化と国際貿易を融合した新理論の構築に関する研究打ち合わせのため、オーストラリア連邦へ出張を命ぜられ、平成 27 年 12 月 18 日に出発し、同月 21 日に帰国した。

鳩澤歩教授は、北イタリア・ヴェネチアの社会経済史を対象とした「地域」の可塑性に関する資料収集・調査を行うため、イタリア共和国へ出張を命ぜられ、平成 27 年 12 月 20 日に出発し、同月 24 日に帰国した。

許衛東准教授は、学会への参加、資料調査および現地研究者との意見交換のため、中華人民共和国へ出張を命ぜられ、平成 27 年 12 月 24 日に出発し、平成 28 年 1 月 5 日に帰国した。

阿部顕三教授は、アメリカ経済学会においてグローバル経済におけるリスクの経済分析に関する情報を収集するため、アメリカ合衆国へ出張を命ぜられ、平成 28 年 1 月 1 日に出発し、同月 5 日に帰国した。

福田祐一教授は、アメリカファイナンス学会 2016 大会において債券リスクプレミアムの変動要因に関する情報収集および意見交換を行うため、アメリカ合衆国へ出張を命ぜられ、平成 28 年 1 月 2 日に出発し、同月 7 日に帰国した。

大屋幸輔教授は、現地研究者との市場の流動性に関する研究打ち合わせのため、アメリカ合衆国へ出張を命ぜられ、平成 28 年 1 月 14 日に出発し、同月 22 日に帰国した。

西原理准教授は、現地研究者とのリアルオプション研究に関する情報交換および研究打ち合わせのため、ドイツ連邦共和国へ出張を命ぜられ、平成 28 年 1 月 16 日に出発し、同月 21 日に帰国した。

西原理准教授は、ECONWORLD 2016において研究発表および情報収集を行うため、スペインへ出張を命ぜられ、平成 28 年 1 月 31 日に出発し、2 月 5 日に帰国した。

松村真宏准教授は、IEEE ICSC 2016において研究発表および情報収集を行うため、アメリカ合衆国へ出張を命ぜられ、平成 28 年 2 月 2 日に出発し、同月 8 日に帰国した。

友部謙一教授は、国際共同プロジェクトに関する研究打ち合わせのため、香港へ出張を命ぜられ、平成 28 年 2 月 5 日に出発し、同月 8 日に帰国した。

恩地一樹准教授は、部局間協定についての意見交換・資料収集および税と組織形態に関する研究にかかる共同研究・情報収集のため、オーストラリア連邦へ出張を命ぜられ、平成 28 年 2 月 6 日に出発し、3 月 1 日に帰国した。

阿部顕三教授は、部局間協定についての意見交換および資料収集のため、オーストラリア連邦へ出張を命ぜられ、平成 28 年 2 月 14 日に出発し、同月 17 日に帰国した。

山本千映教授は、留学生特別入試の海外広報活動のため、モンゴル国へ出張を命ぜられ、平成 28 年 2 月 14 日に出発し、同月 19 日に帰国した。

Pierre-Yves Donzé准教授は、エックス線装置メーカーに関する資料調査のため、アメリカ合衆国へ出張を命ぜられ、平成 28 年 2 月 14 日に出発し、同月 20 日に帰国した。

福田祐一教授は、日米の経済構造の違いが企業の資金調達行動に与える影響に関する資料・情報収集のため、アメリカ合衆国へ出張を命ぜられ、平成 28 年 2 月 18 日に出発し、同月 22 日に帰国した。

西原理准教授は、現地研究者とのリアルオプション研究に関する情報交換および研究打ち合わせのため、ポルトガル共和国へ出張を命ぜられ、平成 28 年 2 月 22 日に出発し、同月 26 日に帰国した。

阿部顕三教授は、文化と国際貿易の分析に関する研究打ち合わせのため、台湾へ出張を命ぜられ、平成 28 年 2 月 25 日に出発し、同月 26 日に帰国した。

西村幸浩准教授は、財政学と産業組織論研究のフロンティアにおける研究発表・情報収集および租税競争に関する共同研究のため、ベルギー王国へ出張を命ぜられ、平成 28 年 3 月 2 日に出発し、同月 30 日に帰国した。

山本達司教授は、Positive Accounting Theory Workshop およびハワイ大学主催ファイナンス・セミナーにおいて情報収集を行うため、アメリカ合衆国へ出張を命ぜられ、平成 28 年 3 月 2 日に出発し、同月 6 日に帰国した。

恩地一樹准教授は、財政学と産業組織論研究のフロンティアにおいて研究発表および情報収集を行うため、ベルギー王国へ出張を命ぜられ、平成 28 年 3 月 2 日に出発し、同月 7 日に帰国した。

阿部顕三教授は、地理的表示と国際貿易の産業組織的分析に関する研究打ち合わせのため、オーストラリア連邦へ出張を命ぜられ、平成 28 年 3 月 3 日に出発し、同月 7 日に帰国した。

福田祐一教授は、非対称情報下における金融取引に関する資料・情報収集のため、オーストラリア連邦へ出張を命ぜられ、平成 28 年 3 月 3 日に出発し、同月 7 日に帰国した。

戎谷梓助教は、日系企業のHRMに関する現地調査およびフィールドワークのため、スリランカ民主社会主義共和国へ出張を命ぜられ、平成 28 年 3 月 3 日に出発し、同月 15 日に帰国した。

佐々木勝教授は、労働市場におけるマッチング効率性の分析に関する研究打ち合わせのため、タイ王国へ出張を命ぜられ、平成 28 年 3 月 6 日に出発し、同月 8 日に帰国した。

松村真宏准教授は、UC システムの大学における教育の質保証に関する調査、UCB の产学連携・国際連携および留学生の受け戦略などに関する意見交換のため、アメリカ合衆国へ出張を命ぜられ、平成 28 年 3 月 8 日に出発し、同月 12 日に帰国した。

友部謙一教授は、国際共同研究の日本側研究報告・討議のため、アメリカ合衆国へ出張を命ぜら

れ、平成 28 年 3 月 14 日に出発し、同月 18 日に帰国した。

恩地一樹准教授は、税と組織改編の研究および情報収集のため、オーストラリア連邦へ出張を命ぜられ、平成 28 年 3 月 14 日に出発し、同月 31 日に帰国した。

高山正樹教授は、アメリカ都市学会における研究発表・情報収集およびメキシコシティの都市経済の地域構造研究に関する資料・情報収集のため、アメリカ合衆国、メキシコ合衆国へ出張を命ぜられ、平成 28 年 3 月 16 日に出発し、同月 25 日に帰国した。

阿部顕三教授は、マニラの交通インフラ調査および日系企業等の訪問調査のため、フィリピン共和国へ出張を命ぜられ、平成 28 年 3 月 19 日に出発し、同月 22 日に帰国した。

大屋幸輔教授は、ファイナンスとマクロ経済に関するコンファレンスにおいて高頻度金融市場とマクロ経済との関連に関する研究成果に関する意見交換を行うため、オーストラリア連邦へ出張を命ぜられ、平成 28 年 3 月 19 日に出発し、同月 23 日に帰国した。

松村真宏准教授は、AAAI 2016 Spring Symposiumにおいて研究発表および情報収集を行うため、アメリカ合衆国へ出張を命ぜられ、平成 28 年 3 月 20 日に出発し、同月 24 日に帰国した。

Wirawan Dony Dahana准教授は、大阪大学大学院経済学研究科博士後期課程の広報活動を行うため、インドネシア共和国へ出張を命ぜられ、平成 28 年 3 月 21 日に出発し、同月 25 日に帰国した。

小南大智助教は、WISPNET 2016において情報収集を行うため、インドへ出張を命ぜられ、平成 28 年 3 月 22 日に出発し、同月 26 日に帰国した。

友部謙一教授は、身体計測に関する物理医学文献の閲覧・複写および大阪大学国際共同研究プロジェクトに関する打ち合わせのため、香港へ出張を命ぜられ、平成 28 年 3 月 24 日に出発し、4 月 4 日に帰国した。

学会・講演会行事

恒例の経済学会講演会が、下記のとおり開催された。

日時 平成 28 年 1 月 21 日
場所 豊中総合学館 3 階 301 講義室
講師 東京大学大学院経済学研究科 教授 大橋弘氏
演題 電力自由化とは何か：システム改革の光と影

OFC 講演会が、下記のとおり開催された。

第 48 回 平成 27 年 5 月 28 日 学士会館
「22 世紀に輝く大阪大学の未来戦略」
大阪大学理事・副学長（大阪大学未来戦略機構・研究部門責任者）相本三郎氏

第 49 回 平成 27 年 6 月 12 日 中之島センター
「地球環境問題に関する国際交渉～イルカさんとウナギくん～」
外務省参与 地球環境問題担当大使 堀江正彦氏

第 50 回 平成 27 年 9 月 9 日 中之島センター
「京都観光の『ヒ・ミ・ツ』」
株式会社時有人社 代表取締役 清水宏一氏

寄附講義が、下記のとおり開催された。

平成 27 年度 1 学期 公開講義「ビジネス・イノベーション」
会場：大阪大学豊中キャンパス豊中総合学館 4 階 402 講義室
日時：毎週金曜日第 3 時限（13 時 00 分～14 時 30 分）

第 1 回 平成 27 年 4 月 10 日
「イントロダクション～資産運用とライフプランニング～」
大阪大学大学院経済学研究科 特任教授 渡辺泰明氏

第 2 回 平成 27 年 4 月 17 日
「Managing Open Innovation」
US-Asia Technology Management Center, Stanford University Director, Professor
Richard B. Dasher 氏

第 3 回 平成 27 年 4 月 24 日
「企業の研究開発におけるイノベーション・マネジメント（1）～自動車産業～」
大阪大学大学院経済学研究科 助教 中田有吾氏

第4回 平成27年5月8日

「企業の研究開発におけるイノベーション・マネジメント(2)～製薬産業～」

大阪大学大学院経済学研究科 助教 中田有吾氏

第5回 平成27年5月15日

「第三次安倍政権の課題」

株式会社日本総合研究所 理事長 高橋進氏

第6回 平成27年5月22日

「空を変える、日本が変わる—新関西国際空港株式会社の空港戦略—」

新関西国際空港株式会社 代表取締役社長兼CEO 安藤圭一氏

第7回 平成27年5月29日

「ビューティー・イノベーション」

株式会社ユニックス 代表取締役社長 森俊雅氏

第8回 平成27年6月5日

「金融システムの安定に向けた最近の歩み」

日本銀行 政策委員会審議委員 石田浩二氏

第9回 平成27年6月12日

「内外景気の現状と今後の見通し～経済予測におけるイノベーションを踏まえて～」

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社 参与 景気循環研究所長 嶋中雄二氏

第10回 平成27年6月19日

「グローバル化する世界：新たな時代にチャンスをつかむ日本」

野村ホールディングス株式会社 シニア・コミュニケーションズ・オフィサー

池上浩一氏

第11回 平成27年6月26日

「行動ファイナンスの紹介」

大阪大学大学院経済学研究科 特任教授 渡辺泰明氏

第12回 平成27年7月3日

「広義のIT業界とイノベーション・・・グローバル経済や地域経済、それから食という視点もまじえて」

オフィス坂東 代表 坂東正康氏

第13回 平成27年7月10日

「ICTによるビジネスの破壊と創造」

アクセンチュア株式会社 代表取締役社長 程近智氏

第14回 平成27年7月17日

「日米の公的年金資産運用に関する研究～GPIF and CalPERS～」

大阪大学大学院経済学研究科 特任教授 渡辺泰明氏

第15回 平成27年7月24日

「日本の年金制度改革とその影響—企業そして個人への影響—」

アライアンス・バーンスタイン株式会社

AB未来総研ディレクター兼DC・NISA推進室長 後藤順一郎氏

平成27年度1学期 特殊講義「アセットマネジメントの理論と実務」

会場：大阪大学豊中キャンパス文法経講義棟3階31番教室

日時：毎週水曜日第3時限（13時00分～14時30分）

第1回 平成27年4月15日

「アセットマネジメントとは（オリエンテーション）」

フィデリティ・ジャパン・ホールディングス（株）取締役副会長 藏元康雄氏

第2回 平成27年4月22日

「投資資産（株式、債券）のリスクとリターン」

イボットソン・アソシエイツ・ジャパン（株）代表取締役社長 山口勝業氏

第3回 平成27年5月13日

「アセットアロケーションと分散投資」

ノーザン・トラスト・グローバル・インベストメンツ（株）エグゼクティブ・アドバイザー
山田正次氏

第4回 平成27年5月20日

「REIT、不動産証券化商品」

三菱商事UBS・REALTY（株）前代表取締役副社長 向井稔氏

第5回 平成27年5月27日

「社会的責任投資」

三井住友信託銀行（株）株式運用部 SRIファンドマネージャー 山田栄一氏

第6回 平成27年6月3日

「ヘッジファンド」

アストマックス投信投資顧問（株）取締役CEO 白木信一郎氏

第7回 平成27年6月10日

「金融商品取引法とアセットマネジメント」

みずほ投信投資顧問（株）法務室長 村岡佳紀氏

第8回 平成27年6月17日

「日本の年金とアセットアロケーション」

大阪ガス(株) 財務部 担当部長 石田英和氏

第9回 平成27年6月24日

「投資信託」

シンクタンク・ソフィアバンク 代表 藤沢久美氏

第10回 平成27年7月1日

「金融デリバティブ取引」

トウキョウ・マリン・アジア・プライベート・リミテッド シニア・バイス・プレジデント

河西洋文氏

第11回 平成27年7月8日

「資産運用業とコンプライアンス」

日本投資顧問業協会 副会長(元証券取引等監視委員会事務局長) 長尾和彦氏

第12回 平成27年7月15日

「ファンドマネージャー・アナリストの業務」

TMインベストメント(株) 代表取締役 水野隆秀氏

第13回 平成27年7月22日

「投資資産の種類とグローバル・マーケットの動向」

DIAMアセットマネジメント(株) チーフエコノミスト 小出晃三氏

第14回 平成27年7月29日

「アセットマネジメント・ビジネスの今後の展望(経営者が語る)」

y2eコンサルティング 代表 工藤雄二氏

第15回 平成27年8月5日

「株主によるガバナンスと企業行動・企業価値」

(株)日本投資環境研究所 主任研究員 上田亮子氏

平成27年度1学期 特殊講義「財政・金融と関西経済の現状」

会場: 大阪大学豊中キャンパス法経講義棟3階5番教室

日時: 毎週金曜日第2時限(10時30分~12時00分)

第1回 平成27年4月10日

「オリエンテーション・財務局が担う役割」

財務省 近畿財務局 理財部次長 井上利裕氏

第2回 平成27年4月17日

「国の予算」

財務省 主計局 次長 西田安範氏

第3回 平成27年4月24日

「我が国税制の現状と一体改革について」

財務省 主税局 総務課 主税企画官兼社会保障・税一体改革調整室長 泉恒有氏

第4回 平成27年5月8日

「経済・社会構造の変化（アベノミクスの背景）」

財務省 近畿財務局 理財部長 郷佳也氏

第5回 平成27年5月15日

「国有財産行政」

財務省 近畿財務局 管財部次長 足立勝則氏

第6回 平成27年5月22日

「税務行政」

大阪国税局 局長 岡田則之氏

第7回 平成27年5月29日

「国債管理政策」

財務省 理財局 国債企画課 国債企画官 百目鬼宏氏

第8回 平成27年6月5日

「最近の経済情勢等」

近畿財務局 総務部長 山岸晃氏

第9回 平成27年6月12日

「金融機関と監督行政」

財務省 近畿財務局 金融監督官 北川真氏

第10回 平成27年6月19日

「国際金融」

財務省 近畿財務局 理財部 金融監督第1課長 出原正弘氏

第11回 平成27年6月26日

「中央銀行業務と金融政策運営」

日本銀行大阪支店 営業課長 福澤恵二氏

第12回 平成27年7月3日

「証券＆ファンド業務と監督行政」

財務省 近畿財務局 理財部 証券監督課長 坂東修一氏

第13回 平成27年7月10日

「公正な証券市場の確立」

財務省 近畿財務局 統括証券検査官 小林基裕氏

第14回 平成27年7月17日

「金融リテラシーⅠ」

財務省 近畿財務局 金融調整官付上席調査官 郷地弘哉氏

第15回 平成27年7月24日

「金融リテラシーⅡ・まとめ」

財務省 近畿財務局 金融調整官付上席調査官 郷地弘哉氏

◇教員が、2015年度（平成27年度）に発表した著書および論文、研究報告等と、受け又は任せられた学位、学術賞、学外活動は、下記のとおりである。

阿部 顕三

[著書]

『貿易自由化の理念と現実（世界の中の日本経済：不確実性を超えて；8）』、NTT出版、2015年12月25日

[論文]

“Trade Liberalization of Environmental and Final Goods”『立命館経済学』第64巻第5号、pp.19-30、2016年1月、Koonseu Patcharinと共に著

“Environmental Protection in the Presence of Unemployment and Common Resources,” *Review of Development Economics*, Vol.20, Iss.1, pp.176-188, February 2016

“Privatization of a Renewable Resource Sector in the presence of a Foreign Enterprise,” *The International Economy*, Vol.18, pp.21-30, March 2016, with Hiroaki Ogawa

[その他]

「TPPによる貿易自由化の効果は国民に浸透するか」、Webコラム 世界経済評論IMPACT、2015年11月24日

「貿易自由化と雇用」、Webコラム 世界経済評論IMPACT、2016年3月21日

[研究報告・研究発表]

“The Impact of Economic Measures on Child Labor in an Open Dual Economy,” The 11th APTS meeting, June 26, 2015, Australian National University, Australia

[学外活動]

日本学術会議 連携会員 任命権者・日本学術会議 2006年8月20日-（継続）

日本国際経済学会 顧問 任命権者・日本国際経済学会会長 2010年10月-（継続）

神戸大学経済経営研究所 非常勤講師 任命権者・神戸大学学長 2011年4月1日-（継続）

大阪大学後援会 監事 任命権者・大阪大学後援会理事長 2011年11月29日-（継続）

日本経済学会 代議員 任命権者・日本経済学会会長 2014年6月14日-（継続）

鷄澤 歩

[著書]

K.ポメランツ著、川北稔監訳『大分岐：中国、ヨーロッパ、そして近代世界経済の形成』、名古屋大学出版会、2015年5月31日、共訳

[その他]

「歴史学からとらえる「ドイツ再統一」」『ドイツ・ニュースダイジェスト』Nr.1010, pp.12-13, 2015年9月18日

[研究報告・研究発表]

「経営史教育の現在 <コメント>外国」、経営学会関西部会4月例会、2015年4月25日、大阪学院大学

「東アジアにおける鉄道技術の展開 <コメント>ヨーロッパの視点から」、経営史学会第51回全国大会、共通論題報告、2015年10月11日、大阪大学

「経営史学の30年(1985-2015年)の歩みを考える—『経営史学の50年』刊行をよすがに—『ドイツ』を中心」、経営史学会関東部会大会、2015年12月14日、法政大学

「帝政ドイツにおける鉄道業の統合：19世紀末以降のプロイセンにおける展開を中心に」、経

當史学会関西部会 12月例会, 2015年12月19日, 大阪大学, 大阪大学経済史経営史研究会との共催

討論「ビジネス・システムの自己革新: トリガーとしての企業家の役割とその内部伝播メカニズムの探求」報告者: 児玉公一郎氏 (明星大学) に対して, 討論者: 奥村昭博 (静岡県立大学), 藤澤歩 (大阪大学), アントレプレナーシップ・コンファレンス, 2016年1月30日, 大阪企業家ミュージアム

[学外活動]

EUインスティテュート (EUIJ) 関西委員 任命権者・EUインスティテュート関西 運営部代表 2005年4月- (継続)

企業家研究フォーラム 幹事 任命権者・企業家研究フォーラム学会長 2006年4月- (継続)

経営史学会富士コンファレンス・国際交流委員 任命権者・経営史学会長 2007年4月- (継続)

関西学院大学商学部 非常勤講師 任命権者・関西学院大学学長 2007年4月- (継続)

大阪学院大学経済学部 非常勤講師 任命権者・大阪学院大学学長 2009年4月- 2015年3月31日

公益法人財団寺西育英会 監事 任命権者・公益法人財団寺西育英会理事長 2011年4月- (継続)

同志社大学商学部 非常勤講師 任命権者・同志社大学学長 2014年4月- (継続)

放送大学客員教授 任命権者・放送大学学長 2014年4月- (継続)

鉄道史学会評議員 任命権者・鉄道史学会代表理事 2014年10月- (継続)

社会経済史学会編集委員 任命権者・社会経済史学会代表理事 2014年12月- (継続)

堂目 卓生

[著書]

The Elgar Companion to David Ricardo, (edited by Heinz D. Kurz and Neri Salvadori) , Edward Elgar, July 2015, 分担執筆

[研究報告・研究発表]

「アダム・スミスの遺産—市民社会の形成に向けて」, 社会思想史学会, 2015年11月7日, 関西大学

「グローバル化時代のスミス」, アダム・スミスの会, 2015年11月28日, 芝蘭会館

「経済学と人間学—アダム・スミスの総合知」, 立命館大学稻盛経営哲学研究センター研究会, 2016年1月29日, 立命館大学

戎谷 梢

[論文]

「日本企業本社における人事国際化の現状と課題」『多国籍企業研究』第8号, pp.93-113, 2015年6月

[研究報告・研究発表]

“Effective Communication for the Inclusion of Foreign Employees into Japanese Firms,” The 28th Annual Conference of Academy of Japanese Business Studies, June 26, 2015, Bangalore, India

“Factors Fostering Team Mental Model within Multinational Teams: Case Study of Subsidiaries of German and Japanese Firms,” The 3rd Conference of International Business, Economic Geography and Innovation, November 13, 2015, Philadelphia, USA

“Training Multicultural Employees in the Headquarters: The Case Study of Indonesian Employees in a Japanese Multinational,” The 41st Annual Conference of European International Business Academy, December 3, 2015, Rio de Janeiro, Brazil

深尾 葉子

[論文]

「満州に生きた漢人女性」、生田美智子編『女たちの満州—多民族空間を生きて—（阪大リープル50）』、pp.234-253、大阪大学出版会、2015年4月8日

[学外活動]

中国榆林学院生態文化回復センター 客座教授 任命権者・榆林学院学長 2004年－（継続）

中国黄土高原国際緑色文化網絡 理事・発起人 任命権者・中国黄土高原国際民間緑色文化網絡理事長 2004年－（継続）

桃山学院大学 ゲスト講師 任命権者・桃山学院大学学長 2008年－（継続）

国際日本文化研究センター 共同研究員 任命権者・国際日本文化研究センター長 2008年－（継続）

NPO法人CREC設立、理事・発起人 任命権者・NPO法人CREC理事長 2010年－（継続）

福重 元嗣

[著書]

第8章「老後の蓄えと金融政策」、日本応用経済学会監修、福重元嗣・細江守紀・焼田党・藪田雅弘編『ベーシック応用経済学』勁草書房、pp.121-137、2015年6月、共同編集、分担執筆

[論文]

“Dissatisfaction with dwelling environments in an aging society: An empirical research for Kanto Area in Japan,” *Review of Urban & Regional Development Studies*, Vol.27, No.3, pp.149-176, November 2015, Noriko Ishikawa and Mototsugu Fukushige

“Long-Run Fiscal Multiplier for Autonomous Prefectures in China,” *Pacific Economic Review*, Vol.20, No.5, pp.687-695, December 2015, Yingxin Shi and Mototsugu Fukushige

“Efficient Scale of Prefectural Government in China,” *China Finance and Economic Review*, Vol.4, Iss.1, pp.1-18, online January 2016, Mototsugu Fukushige, Yingxin Shi

“Rational Consumers,” *International Economic Review*, Vol.57, Iss.1, pp.231-254, February 2016, Kohei Kubota and Mototsugu Fukushige

[学術賞]

REVIEW OF URBAN & REGIONAL DEVELOPMENT STUDIES BEST PAPER AWARD 2015,
Applied Regional Studies Conference, March 2016

[学外活動]

兵庫県立大学会計研究科 非常勤講師『財政学』講義 任命権者・兵庫県立大学学長 2014年4月－（継続）

福田 祐一

[論文]

“Value Premium and Implied Equity Duration in the Japanese Stock Market,” *Journal of International Financial Markets, Institutions and Money*, Vol.39, pp.102-121, November 2015, Yuichi Fukuta, Akiko Yamane

[学外活動]

Asia-Pacific Financial Markets, Associate Editor 任命権者・日本金融・証券計量・工学学会
2012年5月－（継続）

二神 孝一

[研究報告・研究発表]

“The Tragedy of the Commons Reconsidered based on Quasi-Geometric Discounting,”近代経済学のフロンティアに関する研究会, 2015年7月2日, 青山学院大学

“Mixed Duopoly: A Differential Game Approach,”I.O.ワークショップ 寡占, 競争とイノベーション, 2015年8月18日, 札幌学院大学

“Welfare and Tax Policies in a Simple Neoclassical Growth Model with Non-Unitary Discounting,”Osaka Conference on Growth, Stagnation and Macroeconomic Fluctuation, 2015年11月13日, ホテル阪急エキスポパーク

“Debt Policy Rules in a Growing Open Economy with Endogenous Labor Supply,”International Conference on Trade, Financial Integration and Economic Growth, 2015年11月21日, 神戸大学

[学外活動]

立命館大学経済学部 非常勤講師 任命権者・立命館大学総長 1997年4月－（継続）

同志社大学経済学部 非常勤講師 任命権者・同志社大学総長 2003年4月－（継続）

Journal of Economics Associate Editor 2005年－（継続）

廣田 誠

[研究報告・研究発表]

コメント（共通論題「鉄道と商業」の各報告に対して）, 鉄道史学会第33回大会, 2015年10月4日, 近畿大学東大阪キャンパス

[学外活動]

市場史研究会事務局 世話人 任命権者・市場史研究会代表 2000年7月1日－（継続）

関西学院大学商学部 非常勤講師「商業史」「商業史各論」 2002年4月1日－（継続）

神戸女学院大学人間科学部 非常勤講師「食糧経済学」 2002年4月1日－（継続）

神戸学院大学経済学部 非常勤講師「日本経済史」 2008年4月1日－（継続）

『山口県史』現代専門委員 任命権者・山口県知事 2008年4月1日－（継続）

社会経済史学会 理事 任命権者・社会経済史学会代表理事 2012年12月1日－（継続）

鉄道史学会 理事 任命権者・鉄道史学会会長 2012年12月1日－（継続）

経営史学会 理事 任命権者・経営史学会会長 2013年1月1日－（継続）

『経済史研究』（大阪経済大学日本経済史研究所）編集委員 任命権者・大阪経済大学日本経済史研究所所長 2014年3月1日－（継続）

八尾市史 専門部会員（近現代部会） 任命権者・八尾市長 2015年4月1日－

企業家研究フォーラム 理事 任命権者・企業家研究フォーラム会長 2015年7月18日－

石黒 真吾

[論文]

“Relationships and Growth: On the Dynamic Interplay between Relational Contracts and Competitive Markets in Economic Development” *Review of Economic Studies*, online September 2015

[研究報告・研究発表]

“Non-Stationary Relational Contracts with Search Market Dynamics,” Contract Theory Workshop, 2015年5月, 関西学院大学梅田サテライトキャンパス

“Endogenous Organizational Change and Diversity,” 青木昌彦先生追悼コンファレンス, 2016年2月, 東京大学

[学外活動]

Japanese Economic Review 共同編集委員 任命権者・*Japanese Economic Review*責任編集者 2012年3月－（継続）

祝迫 達郎

[論文]

「特許保護強化の経済成長への影響：財政政策の効果」『立命館経済学』64巻5号, pp.49-60, 2016年3月10日

[研究報告・研究発表]

“Product Cycles and Growth Cycles,” Osaka Conference on Growth, Stagnation and Macroeconomic Fluctuations, 2015年11月14日, 大阪大学

[学外活動]

立命館大学経済学部非常勤講師 任命権者・立命館大学学長 2009年4月1日－（継続）

勝又 壮太郎

[著書]

『競争を味方につけるマーケティング：脱コモディティ化のための新発想』, 有斐閣, 2016年2月

[論文]

「競争市場構造分析のための諸手法」『経営と経済』第95巻第1-2号, pp.163-196, 2015年9月

“Should New Products in a New Category Look New? An Empirical Assessment of the Relationship between Design Newness and Category Maturity,” Proceedings in the 2015 Annual PDMA Research Forum, October 2015

“The Reciprocal Effects of Country-of-Origin on Product Evaluation: An Empirical Examination of Four Countries,” *Asia Pacific Journal of Marketing and Logistics*, Vol.28, No.1, pp.92-106, January 2016

“The Relationship between Content Creation and Monetization by Consumers: Amateur Manga (Doujinshi) and Music in Japan,” *Annals of Business Administrative Science*, Vol.15, online March 2016

[書評]

西本章宏著『外部マーケティング資源としての消費者行動』(有斐閣, 2015年), 『マーケティング・ホライズン』2016年1号, p.39, 2016年2月

[研究報告・研究発表]

「製品デザインの選好とカテゴリーの成熟」, 日本マーケティング・サイエンス学会 第97回研究大会, 2015年6月, 大阪府立大学

“Effects of Competitive Context on the Market Structure Based on the Heterogeneity of Choice Sets,” INFORMS Marketing Science Conference, June 2015, Atlanta, GA

「スマートフォンゲームサービスと消費者反応の関係性」日本デジタルゲーム学会 2015年度夏季研究大会, 2015年8月, 日本大学津田沼キャンパス

「実店舗・オンライン購買の選択要因の検討：商品特性がオンライン購買選択に与える影響」，日本マーケティング・サイエンス学会 第98回研究大会，2015年12月，東京，電通ホール

「状態空間モデルを用いたターゲティング広告配信の最適化」，日本マーケティング・サイエンス学会 第98回研究大会，2015年12月，東京，電通ホール

「製品外観デザイン成果の多面的検討」，日本マーケティング・サイエンス学会 第98回研究大会，2015年12月，東京，電通ホール

[学術賞]

平成27年度データ解析コンペティション JIMS合同部会 最優秀賞，日本マーケティング・サイエンス学会合同部会，2016年2月20日

研究奨励賞，日本ソーシャルデータサイエンス学会，2016年3月15日

[学外活動]

行動計量学会 和文誌編集員 任命権者・日本行動計量学会 2015年5月25日 -

日本マーケティング・サイエンス学会 研究委員 任命権者・日本マーケティング・サイエンス学会 2015年10月1日 -

葛城 政明

[研究報告・研究発表]

「経済学における演繹主義と存在論」，数理経済学会方法論部会 春季ジョイント・セミナー，2016年3月25日，大阪大学

木下 亮

[研究報告・研究発表]

「帰無仮説化における因果性測度の検定統計量の分布に関して」，Summer Workshop on Economic Theory，2015年8月6日，小樽商科大学

「帰無仮説下における因果性測度の検定統計量の分布に関して」，統計関連学会連合大会，2015年9月7日，岡山大学

瀧本太郎・細谷雄三氏論文 “Characterizing interdependencies of the vector ARMA process: theory and application” に対する討論者，日本経済学会秋季大会，2015年10月11日，上智大学

“Statistical inference for causality measures using second order approximations,” Recent Progress in Time Series and Related Fields，2015年12月11日，東北大学

[学位]

博士（経済学） 大阪大学 2016年3月

[学外活動]

非常勤講師 任命権者・関西大学経済学部 2015年4月1日 - 2016年3月31日

小林 敏男

[研究報告・研究発表]

「大学における产学連携の制度整備と共同研究創成活動との関連分析」，国際P2M学会第20回秋季研究発表大会予稿集『アジア・パシフィック地域における产学官連携とプログラムマネジメント』，2015年9月26日，千葉工業大学

「产学共同創成における連携部門の関わりに関する一考察」，研究・技術計画学会「第30回年次大会 講演要旨集」，2015年10月10日，早稲田大学

[学外活動]

- 特定非営利活動法人おおさか大学起業支援機構 理事 任命権者・代表理事 篠原祥哲 2002年5月23日－（継続）
- 公益財団法人大阪産業振興機構 阪大イノベーションファンド評価委員会 評価委員 任命権者・日本ベンチャーキャピタル株式会社 2003年6月4日－（継続）
- （株）千趣会 特別委員会委員 任命権者・代表取締役社長 行待裕弘 2006年1月19日－（継続）
- 青い銀杏の会 理事 任命権者・理事長 森下竜一 2010年6月21日－2015年7月
- 公益財団法人日本応用酵素協会 評議員 任命権者・会長 土屋裕弘 2012年10月1日－（継続）
- 大阪大学経済学部同窓会 副会長 任命権者・会長 犬伏泰夫 2015年7月4日－

小暮 克夫

[論文]

“Conflict, Institutions, and Economic Behavior: Legacies of the Cambodian Genocide,” *CEI Working Paper*, Hitotsubashi University, pp.1-47, September 6, 2015

[研究報告・研究発表]

“Conflict, Institutions, and Economic Behavior: Legacies of the Cambodian Genocide,” Joint Conference on “Logic, Game Theory, and Social Choice 8” and “8th Pan-Pacific Conference on Game Theory,” May 20, 2015, The Institute of Economics, Academia Sinica, Taipei, Taiwan

“Identification and Estimation of Spatial Treatment Effects,” Development Seminar, 2015年6月30日, 一橋大学

“Some Remarks on the Causal Inference for Historical Impacts,”「実証的なモラル・サイエンス」研究集会, 2016年3月12日, 日本福祉大学東海キャンパス

「カンボジアにおける社会革命と人間の行動」, 「社会慣習・行動パターン・限定合理性」研究集会, 2016年3月22日, 早稲田大学

[学外活動]

一橋大学大学院経済学研究科 非常勤講師 任命権者・一橋大学学長 2015年10月1日－

一橋大学経済研究所 客員研究員 任命権者・一橋大学経済研究所所長 2015年10月1日－

小南 大智

[研究報告・研究発表]

「無線センサーネットワークによるカエルを対象とした音源位置推定手法の実装」, 電子情報通信学会情報ネットワーク研究会, 2015年5月, 機械振興会館, 第三著者

「大規模ネットワークシステムの熱力学的解釈」, 電子情報通信学会情報ネットワーク研究会, 2015年11月, 熊本大学

“Brain-inspired method for constructing a robust virtual wireless sensor network,” International Conference on Computing and Network Communications, December 2015, Trivandrum, India, 第二著者

“Hierarchical optimal control method for controlling self-organized networks with light-weight cost,” IEEE Global Communications Conference, December 2015, San Diego, USA, 第二著者

“Implementation of a sound-source localization method for calling frog in an outdoor environment using a wireless sensor network,” IEEE International Conference on Wireless Communications Signal Processing and Networking, March 2016, SSN College of Engineering, India, 第三著者

[学術賞]

情報ネットワーク研究会研究賞 電子情報通信学会 情報ネットワーク研究会 2016年3月

松村 真宏

[論文]

「東日本大震災時のネガティブ感情反応表出一大規模データによる検討ー」『心理学研究』

Vol. 86, No. 2, pp.102-111, 2015年6月, 三浦麻子, 小森政嗣, 松村真宏, 前田和甫

“Special issue: Shikakeology: From framework to implementation,” *AI & Society*, Vol. 30, No. 4, pp. 415-417, November 2015, Naohiro Matsumura, Renate Fruchter

“Shikakeology: designing triggers for behavior change,” *AI & Society*, Vol. 30, No. 4, pp. 419-429, November 2015, Naohiro Matsumura, Renate Fruchter, Larry Leifer

“The effect of a ticking clock on task performance,” *AI & Society*, Vol. 30, No. 4, pp. 443-449, November 2015, Shoko Yamane, Naohiro Matsumura

「ソーシャルメディアにおける災害情報の伝播と感情：東日本大震災に際する事例」『人工知能学会論文誌』 Vol. 31, No. 1, pp. 1-9, 2016年1月, 三浦麻子, 鳥海不二夫, 小森政嗣, 松村真宏, 平石界

[研究報告・研究発表]

「東日本大震災関連ツイートにおけるメディアと感情表現の関連～「メタメディア」としてのソーシャルメディア～」, 第29回人工知能学会全国大会, 2015年5月31日, 函館, 松村真宏, 三浦麻子, 小森政嗣, 平石界

“Measuring the Value of Customer Engagement in Mobile Social Networking Services,” INFORMS Marketing Science, June 18-20, 2015, Baltimore, USA, Hikaru Yamamoto, Naohiro Matsumura

“Shikake Data Market for Collaborative Shikake Creation, Designing Safe and Secure Life on the Market of Data - Exchanging and Integrating Data via Insightful Communications (MoDAT 2015)” IEEE ICDM 2015, November 14, 2015, Atlantic City, NJ, USA, Naohiro Matsumura, Hideaki Takeda

「視聴覚刺激を用いた仕掛けが入店行動に及ぼす影響」, 電子情報通信学会 ヒューマンコミュニケーション基礎 (HCS) 研究会, 2016年1月, 奈良, 廣本嶺, 小川泰隆, 山根承子, 松村真宏

“Media and Sentiments in the Great East Japan Earthquake Related Tweets – Social Media as “Meta Media”–,” Proc. 2016 IEEE Tenth International Conference on Semantic Computing, February 2016, CA, USA, Naohiro Matsumura, Asako Miura, Masashi Komori, Kai Hiraishi

「シカケコンテスト投稿作品におけるシカケの構成要素の分析」, 情報処理学会 第39回エンタテインメントコンピューティング研究発表会, 2016年3月, 京都, 松村真宏

「カプセルトイによる行動誘発実験」, 情報処理学会 第39回エンタテインメントコンピューティング研究発表会, 2016年3月, 京都, 板谷祥奈, 宮武由佳, 田縁正明, 呉京澤, 廣本嶺, 松村真宏

「引っ掛けを利用したビラ配布・設置の実証実験」, 情報処理学会 第39回エンタテインメントコンピューティング研究発表会, 2016年3月, 京都, 高橋緑, 竹内穂波, 矢倉誠人, 小川泰隆, 松村真宏

[学外活動]

IEEE-SMC Technical Committee on Information Systems for Design and Marketing Program Committee of Social Intelligence Design 2006年4月- (継続)

Guest Editor *AI & Society* (Springer-Verlag) 2014年- (継続)

村宮 克彦

[書評]

斎藤静樹著『企業会計入門—考えて学ぶ』(有斐閣), 『企業会計』 Vol. 67, No. 4, p.142, 2015 年 4 月

[研究報告・研究発表]

“Do Lower R-Squared Values Signify Informativeness or Noise? Evidence from the Great East Japan Earthquake,” 日本会計研究学会第 65 回関西部会, 2015 年 12 月 12 日, 大阪市立大学

「時間を通じて変動する期待リターンの推計と ICC 研究の新展開」, 第 5 回大阪市立大学会計研究会, 2016 年 3 月 10 日, 大阪市立大学

“What Moves Firm Values?” 第 1 回 JARDIS ワークショップ, 2016 年 3 月 21 – 22 日, 県立広島大学

中川 功一

[著書]

中川功一, 林正, 多田和美, 大木清弘著『はじめての国際経営』, 有斐閣, 2015 年 4 月

天野倫文, 新宅純二郎, 中川功一, 大木清弘編『新興国市場戦略論 拡大する中間層市場へ・日本企業の新戦略』, 有斐閣, 2015 年 12 月

[論文]

「海外子会社マネジメントにおける組織社会化のジレンマ—日系企業の新興国海外子会社 6 社の分析—」『日本経営学会誌』第 36 号, pp.38-48, 2015 年 9 月, 中川充・中川功一・多田和美

「新興国子会社における組織社会化の 2 つの成功パターン—日本多国籍企業 A 社のタイ拠点とカンボジア拠点の比較分析」『国際ビジネス研究』Vol.7, No.2, pp.75-87, 2015 年 10 月, 多田和美, 中川功一, 今川智美

[その他]

「集中か多角化か? 半導体企業の製品群選択と収益性—世界半導体企業 主要 59 社のパネルデータ (2001-2013) 分析より—」, *Discussion Papers In Economics And Business*, Graduate School of Economics and Osaka School of International Public Policy (OSIPP), Osaka University, No.15-04, 2015 年 4 月, 中屋雅夫, 中村文亮, 中川功一

“Issue selection flexibility and strategic rigidity: Lessons from Sharp's crisis,” *Discussion Papers In Economics And Business*, Graduate School of Economics and Osaka School of International Public Policy (OSIPP), Osaka University, No.15-24, October 2015, Nakagawa, K. and Matsumoto, Y.

[研究報告・研究発表]

“Effect of control and crossvergence on knowledge building in emerging markets: Evidence from Japanese multinationals,” Strategic Management Society 35th Annual international conference, October 5, 2015, Denver, USA, Nakagawa, K., Tada, K., Imagawa, T., Nakagawa, M., and Fukuchi, H.

「脱自分たちらしさのマネジメント—日系新興国海外子会社の統計分析より」, 組織学会年次大会報告, 2015 年 12 月 5 日, 大阪大学

「戦略イシューの柔軟な操作と戦略の硬直化—シャープの液晶関連事業の事例分析」, 組織学会年次大会報告, 2015 年 12 月 5 日, 大阪大学

西原 理

[論文]

“The effects of business cycle and debt maturity on a firm's investment and default decisions,”

International Review of Economics and Finance, Vol. 38, pp.326-351, July, 2015, Haejun JEON, Michi NISHIHARA

[その他]

“Asset sale, debt restructuring, and liquidation,” *Discussion Papers In Economics And Business*, Graduate School of Economics and Osaka School of International Public Policy (OSIPP), Osaka University, Osaka University, No. 15-22, August 2015, Michi NISHIHARA, Takashi SHIBATA

[研究報告・研究発表]

“Firm’s optimal decisions of debt renegotiation, asset sale, and liquidation,” 13th Viennese Workshop on Optimal Control and Dynamic Games, May 16, 2015, Vienna University of Technology, Vienna, Austria, Michi NISHIHARA, Takashi SHIBATA

“Asset sale, debt restructuring, and liquidation,” The Oligo Workshop, June 3, 2015, Carlos III University of Madrid, Madrid, Spain Michi NISHIHARA, Takashi SHIBATA

“Investment timing, collateral, and financing constraints,” 21st International Conference on Computing in Economics and Finance, June 20, 2015, Howard Civil Service International House, Taipei, Taiwan, Takashi SHIBATA, Michi NISHIHARA

“Valuation of sequential R&D investment,” 16th ASMDA 2015 International Conference, 3 July, 2015, University of Piraeus, Piraeus, Greece

“Optimal decisions of debt renegotiation, asset sale, and liquidation,” 27th European Conference on Operational Research, July 13, 2015, University of Strathclyde, Glasgow, United Kingdom, Michi NISHIHARA, Takashi SHIBATA

“Investment timing, collateral, and financial constraints,” 27th European Conference on Operational Research, July 14, 2015, University of Strathclyde, Glasgow, United Kingdom, Takashi SHIBATA, Michi NISHIHARA

“Investment timing, collateral, and financial constraints,” 日本オペレーションズ・リサーチ学会北海道支部サマースクール 2015, 2015 年 8 月 5 日, 稚内総合文化センター, 稚内, 芝田隆志, 西原理

“Investment timing, collateral, and financial constraints,” Advanced Methods in Mathematical Finance, September 2, 2015, Bon Pasteur Accueil, Angers, France, Takashi SHIBATA, Michi NISHIHARA

“Asset sale, debt restructuring, and liquidation,” International Conference on Operations Research, September 3, 2015, University of Vienna, Vienna, Austria, Michi NISHIHARA, Takashi SHIBATA

“Investment timing, collateral, and financial constraints,” 日本オペレーションズ・リサーチ学会 2015 年秋季研究発表会, 2015 年 9 月 10 日, 九州工業大学, 北九州, 芝田隆志, 西原理

“Asset sale, debt restructuring, and liquidation,” 17th EBES Conference, October 17, 2015, San Servolo Island, Venice, Italy, Michi NISHIHARA, Takashi SHIBATA

“Investment timing, collateral, and financing constraints,” 47th ISCIE International Symposium on Stochastic Systems Theory and Its Applications, December 5, 2015, Waikiki Beach Marriott Resort & Spa, Honolulu, USA, Takashi SHIBATA, Michi NISHIHARA

“Asset sale, debt restructuring, and liquidation,” Paris Financial Management Conference, December 15, 2015, IPAG Business School, Paris, France, Michi NISHIHARA, Takashi SHIBATA

“Default and liquidation timing under asymmetric information,” The Research Colloquium, January 20, 2016, Otto-von-Guericke-University Magdeburg Magdeburg, Germany, Michi NISHIHARA, Takashi SHIBATA

“Investment timing under financing constraints based on collateral,” 10th Bachelor Colloquium on

Mathematical Finance and Stochastic Calculus, January 20, 2016, Azureva Metabief, Metabief, France,
Takashi SHIBATA, Michi NISHIHARA

“Default and liquidation timing under asymmetric information,” Econworld 2016, February 2, 2016,
Avenida Palace, Barcelona, Spain, Michi NISHIHARA, Takashi SHIBATA

“Default and liquidation timing under asymmetric information,” Real Options Day, February 25, 2016,
University of Porto, Porto, Portugal, Michi NISHIHARA, Takashi SHIBATA

[学外活動]

日本オペレーションズ・リサーチ学会論文誌 編集委員 任命権者・日本オペレーションズ・
リサーチ学会論文誌編集委員長 2012年4月1日－（継続）

西村 幸浩

[論文]

“Efficient Taxation with Differential Risks of Dependence and Mortality,” *Economics Bulletin*, Vol.36,
Iss.1, pp.52-57, February 4, 2016

[その他]

「第2章 税制が抱える課題」, 日本経済新聞朝刊『やさしい経済学 公共政策を考える』, 2015年
7月15日－27日

[研究報告・研究発表]

“On the Timing of Tax and Investment in Fiscal Competition Models,” The 71th Annual Meeting of
International Institute of Public Finance, August 21, 2015, the Trinity College, Ireland

“On the Timing of Tax and Investment in Fiscal Competition Models,” The 30th Annual Congress of the
European Economic Association, August 24, 2015, University of Mannheim, Germany

“Follow You, Follow Me in Tax and Investment Competition Models,” 1st Belgo-Japanese Public
Finance Workshop, March 5, 2016, CORE-UCL, Belgium

[学外活動]

Member of organizing committee, co-organizer, 1st Belgo-Japanese Public Finance Workshop 任命権
者・Jean Hindriks 2015年9月－2016年3月5日

大西 匡光

[論文]

“A Valuation of Callable and Putable Bonds under the Two-Factor Generalized Ho-Lee model for
Interest Rate and Credit Risks,”『京都大学数理解析研究所講究録』No.1939, pp.125-132, 2015年4
月, 落合夏海との共著

“Valuation of Game Option Bonds under the Generalized Ho-Lee model: A Stochastic Game Approach,”
Journal of Mathematical Finance, Vol.5, No.4, pp.412-422, November 2015, 落合夏海との共著

[研究報告・研究発表]

「Credit Contagion を考慮した与信ポートフォリオのName Concentrationについて」, 日本金融・
証券計量・工学学会 2015年夏大会, 2015年8月7日, 中央大学・市ヶ谷田町キャンパス, 朴晃
一との共同研究

「一般化Ho-Leeモデルのもとでのゲーム・スワップションの価格評価」, 京都大学数理解析研究
所・研究集会「不確実・不確定性の下での数理意思決定モデルとその周辺」, 2015年11月11日,
京都大学数理解析研究所, 蛭名安希, 落合夏海との共同研究

[学外活動]

- 日本オペレーションズ・リサーチ学会関西支部 運営委員 任命権者・日本オペレーションズ・リサーチ学会 2001年4月-（継続）
- 日本オペレーションズ・リサーチ学会 代議員 任命権者・日本オペレーションズ・リサーチ学会 2002年4月-（継続）
- 日本学術会議 連携会員 任命権者・日本学術会議 2006年9月-（継続）
- 日本オペレーションズ・リサーチ学会 フェロー 任命権者・日本オペレーションズ・リサーチ学会 2007年4月-（継続）

太田 亘

[研究報告・研究発表]

「指値注文市場におけるティックサイズと流動性」, 日本ファイナンス学会, 2015年6月7日, 東京大学

[学外活動]

- 日本ファイナンス学会 理事 任命権者・日本ファイナンス学会 2014年5月-（継続）
- 日本証券アナリスト協会試験委員会 委員 任命権者・日本証券アナリスト協会 2014年11月-（継続）
- 日本証券アナリスト協会『証券アナリストジャーナル』編集委員会 委員 任命権者・日本証券アナリスト協会 2014年11月-（継続）

恩地 一樹

[論文]

“A nation without a corporate income tax: Evidence from nineteenth century Japan,” *Centre for economic history discussion paper series*, No. 2015-10, May 1, 2015, joint with John P. Tang

[研究報告・研究発表]

“Taxes and the structures of corporate takeover,” ANU, September 4, 2015, Canberra

“A nation without a corporate income tax: Evidence from 19 century Japan,” National Tax Association, November 19, 2015, Boston

“A nation without a corporate income tax: Evidence from 19 century Japan,” CORE, March 4, 2016, Belgium

小野 哲生

[論文]

“A Political Economy Model of Earnings Mobility and Redistribution Policy,” *Journal of Public Economic Theory*, Vol. 17, Iss. 3, pp. 346-382, June 2015, co-author with Ryo Arawatari

“Inequality, Mobility and Redistributive Taxation in a Finance-constrained Economy,” *Applied Economics and Finance*, Vol. 2, No. 4, pp. 137-142, November 2015, co-author with Ryo Arawatari

“Marital Status and Derived Pension Rights: A Political Economy Model of Public Pensions with Borrowing Constraints,” *Journal of Public Economic Theory*, Vol. 18, No. 1, pp. 99-124, February 2016

大屋 幸輔

[論文]

「情報の非対称性のリアルタイム計測としてのVPIN」『先物・オプションレポート』 Vol.27

No.4, pp.1-6, 2015年4月

「短期的な市場変動予測指標としてのVPINの有効性について」『先物・オプションレポート』Vol.28 No.2, pp.1-7, 2016年2月, 脇屋 勝氏と共に著

「VPINを用いた短期的な市場変動予測－日経225先物及び日経225miniを用いた実証分析－」『JPXワーキングペーパー』Vol.11, pp.1-58, 2016年3月, 脇屋勝氏と共に著

[その他]

「基礎講座 現代統計学第6回：時系列解析（1）」『数学セミナー』第54巻9号, pp.64-69, 2015年9月

「基礎講座 現代統計学第7回：時系列解析（2）」『数学セミナー』第54巻10号, pp.66-71, 2015年10月

[研究報告・研究発表]

「株価指数と先物間の因果関係変化の検証」, 応用時系列研究会, 2015年7月4日, 東京大学小島ホール, 木下亮氏との共同研究, 報告: 大屋

“Term structure with smooth transition,” workshop on “Frontiers in Financial Econometrics,” 2015年8月4-5日, 一橋大学, 棚木伸吾氏との共同研究, 報告: 大屋

「平滑推移するリスクの市場価格を伴う金利期間構造モデル」, 統計関連学会連合大会, 2015年9月7日, 岡山大学, 棚木伸吾氏との共同研究, 報告: 棚木

「帰無仮説下における因果性測度の検定統計量の分布に関して」, 統計関連学会連合大会, 2015年9月7日, 岡山大学, 木下亮氏との共同研究, 報告: 木下

「市場におけるリスクの計測とその活用」長崎大学経済学会講演会, 2015年10月2日, 長崎大学

“Option implied volatility of JGB using American option prices,” 9th International conference on Computational and Financial Econometrics, December 12-14, 2015, University of London, UK

「株価指数と先物間の因果関係変化の検証」, 科学研究プロジェクト「経済リスクの統計学の新展開: 稀な事象と再起的事象」, 2015年12月18日, 東京大学小島ホール, 木下亮氏との共同研究, 報告: 大屋

“Term structure with smooth transition,” 日本金融・証券計量・工学学会, 2016年1月25日, 慶應義塾大学三田キャンパス, 棚木伸吾氏との共同研究, 報告: 棚木

[学外活動]

日本統計学会 代議員 任命権者・日本統計学会 2015年6月1日 -

尾崎 雅彦

[著書]

西條辰義編『フューチャー・デザイン：七世代先を見据えた社会』, 効草書房, 2015年4月, 第2章「将来省のデザイン」, 第11章「発想の転換から新しい価値を生み出す」, 分担執筆

[学外活動]

大阪府立大学 21世紀科学研究機構次世代電動車両開発研究センター 客員研究員 2013年5月1日 - (継続)

大阪府「大阪経済成長連携プロジェクト運営委員会」委員 2014年4月1日 - (継続)

Pierre-Yves Donzé

[著書]

«Les ingénieurs du Département de production d'armes de l'Université de Tokyo et l'essor technologique

de l'industrie japonaise (1930-1960)», in Serge Benoît et Alain P. Michel (dir.), *Le monde du génie industriel au XXe siècle: autour de Pierre Bézier et des machines-outils*, Université de technologie de Belfort-Montbéliard (France), December 2015, 分担執筆

「製品イノベーションからファッショニ一時計」黒澤隆文, 橋川武朗, 西村成弘編『グローバル経営史』, 名古屋大学出版会, 2016年3月, 分担執筆

[論文]

“Global value chains and the lost competitiveness of the Japanese watch industry: an applied business history of Seiko since 1990,” *Asia Pacific Business Review*, Vol. 21, Iss. 3, pp. 295-310, July 2015

“European luxury big business and emerging Asian markets, 1960–2010,” *Business History*, Vol. 57, No. 6, pp. 822-840, September 2015, with Rika Fujioka

“Siemens and the Construction of Hospitals in Latin America, 1949–1964,” *Business History Review*, Vol. 89, No. 3, pp. 475-502, Autumn 2015

“Retail Networks and Real Estate: the case of Swiss luxury watches in China and Southeast Asia,” *Discussion Papers In Economics And Business*, Graduate School of Economics and Osaka School of International Public Policy (OSIPP), Osaka University, No. 15-28, October 2015, with Thierry Theurillat

“Le design industriel et l'intégration du Japon à l'économie globale (1900-1937),” *Histoire, économie, société*, Vol. 34, No. 4, pp. 93-109, December 2015

“Business History and Management Studies,” *Journal of Evolutionary Studies in Business*, Vol. 1, No. 1, pp. 122-151, January 2016

[研究報告・研究発表]

“Le travail à domicile dans l'industrie horlogère suisse : aspects juridiques et contractuels (1880-1970),” Mondes et marchés du travail dans l'Europe du Sud XVe-XXIe siècle, May 22, 2015, ENS Cachan, Paris, France

“Competition and Cooperation in the Global Electronics Industry: The Case of X-Ray Equipment, 1900-1970,” Business History Conference, June 27, 2015, Miami, USA

“The Globalization of the Luxury Industry (1970-2010),” World Economic History Congress, 2015年8月7日, 京都

“R&D and innovation in the electronic watch industry: a comparative business history of Longines(Switzerland) and Seiko(Japan), 1960-1980,” Appreciating Innovation Across Countries, November 7, 2015, Copenhagen Business School, Denmark

[学外活動]

経営史学会関西部会幹事 任命権者・経営史学会会長 2013年4月1日－（継続）

同志社大学商学部非常勤講師 任命権者・同志社大学商学部学部長 2014年4月1日－（継続）

Member of the Council of the European Business History Association (EBHA), Elected by members, 2016年1月1日－

三道 弘明

[論文]

「時空間ホテリングモデルと小売業における新聞売り子問題」『オペレーションズ・リサーチ』 Vol. 60, No. 5, pp. 259-265, 2015年5月, 三道弘明, 小出武, 木庭淳

“Socially Optimal Service Hours with Special Offers,” *Discussion Papers In Economics And Business*, Graduate School of Economics and Osaka School of International Public Policy (OSIPP), Osaka University, No. 15-11, May 2015, H. Kim, H. Sandoh

“Large-Scaled Chain Stores versus Small-Scaled Local Stores of the Local Production for Local Consumption,” *Discussion Papers In Economics And Business*, Graduate School of Economics and Osaka School of International Public Policy (OSIPP), Osaka University, No. 15-16-Rev.3, September 2015, H. Sandoh, R. Suzuki

[研究報告・研究発表]

「時間帯割引を考慮したサービス業の最適割引率—社会厚生の最大化—」, 日本OR学会秋季研究発表会, 2015年9月11日, 九州工業大学, 金蕙園, 三道弘明

「地産地消型小売り vs 大手小売り」, 日本OR学会秋季研究発表会, 2015年9月11日, 九州工業大学, 三道弘明, 鈴木理沙

「ゲーム理論で解く2社間の競合戦略（価格, 広告, 品揃えなど）」, 日本OR学会2015年度第2回ORセミナー, 2015年12月5日, 大阪大学中之島センター

「地産地消型小売り vs 大手小売り（第2報）」, 日本OR学会春季研究発表会, 2016年3月17日 – 18日, 慶應大学, 三道弘明, 鈴木理沙

「ネットワーク価格安定化モデルにおける期待利得最大プロトコル」, 日本OR学会春季研究発表会, 2016年3月17日 – 18日, 慶應大学, 木庭淳, 菊田健作, 三道弘明

[学術賞]

Best Paper Award of The 2015 IAENG International Conference on Operations Research, International Association of Engineers, May 2015, H. Sandoh, T. Koide, J. Kiniwa

[学外活動]

日本オペレーションズ・リサーチ学会 フェロー 任命権者・日本オペレーションズ・リサーチ学会会長 2004年4月1日 – (継続)

日本オペレーションズ・リサーチ学会 関西支部顧問 任命権者・日本オペレーションズ・リサーチ学会関西支部長 2015年4月1日 –

佐々木 勝

[論文]

“An Experimental Test of a Search Model under Ambiguity,” *Theory and Decision*, Vol. 79 Iss. 4, pp. 627-637, December 2015, with Takao Asano and Hiroko Okudaira

“The Long-Term Impact of the 1998 Nagano Winter Olympic Games on Economic and Labor Outcomes,” *Asian Economic Policy Review*, Vol. 11 Iss. 1, p. 43-65, January 2016, with Koyo Miyoshi
[その他]

論文紹介：“Asia has a sporting chance,” *NIKKEI Asian Review*, May 1, 2015

「気鋭の経済論点：市場メカニズムはモラルを殺すのか」『日経ビジネス』第1815号, pp.144, 2015年11月9日

[研究報告・研究発表]

“The Effect of Extended Unemployment Benefit on the Job Finding Hazards: A Quasi-Experiment Evidence in Japan,” 2015 ESPS, June 17-20, 2015, Izmir University of Economics

“The Long-Term Impact of the Nagano Winter Olympic Games on Economic and Labor Outcomes,” OEIO研究会, 2015年7月3日, 大阪大学

「景気変動が賃金格差に与える影響」, ESRI国際共同研究(WG2)中間報告, 2015年10月23日, 内閣府

“Committee Voting and Moral: Laboratory Experiments,” RIETIワークショップ, 2015年11月26日, 経済産業省

“Committee Voting and Moral: Laboratory Experiments,” The 3rd Joint Workshop for Chulalongkorn University and Osaka University, December 1-2, 2015, Chulalongkorn University

「景気動向が賃金格差に与える影響」, 六甲台セミナー, 2016年1月21日, 神戸大学

「景気変動が賃金格差に与える影響」, ESRI国際共同研究(WG2)最終報告, 2016年3月16日, 内閣府

[学外活動]

日本労働研究雑誌 編集委員 任命権者・労働政策研究研修機構 2011年3月11日- (継続)

日本経済学会 2015年春季大会 プログラム委員長 任命権者・日本経済学会 2015年5月23日-24日

佐藤 泰裕

[論文]

“How Urbanization Affect Employment and Social Interactions,” *European Economic Review*, Vol.75, pp.131-155, April 2015, with Y. Zenou

[学外活動]

Associate editor, *Regional Science and Urban Economics* 任命権者・Editorial Board, *Regional Science and Urban Economics* 2011年1月1日- (継続)

Editorial advisor, *Papers in Regional Science* 任命権者・Editorial Board, *Papers in Regional Science* 2011年1月1日- (継続)

澤井 実

[著書]

『アジア・太平洋戦争辞典』(担当項目:「池貝鉄工所」,「行政查察使」,「工作機械製造事業法」,「東京芝浦電気会社」,「新潟鉄工所」,「古市龍雄」,「山口喜三郎」), 吉川弘文館, 2015年11月

[論文]

「外資系企業の「日本化」過程—戦時下における帝国酸素の事例—」『大阪大学経済学』第65巻第1号, pp.1-25, 2015年6月

「戦前期におけるガス溶接・溶断機企業の展開」『大阪大学経済学』第65巻第2号, pp.1-15, 2015年9月

「企業者史研究の課題」『企業家研究』第12号, pp.1-15, 2015年12月

「戦前・戦中期における電気溶接機企業の展開」『大阪大学経済学』第65巻第3・4号, pp.1-13, 2016年3月

[書評]

谷口明丈編『現場主義の国際比較—英独米日におけるエンジニアの形成—』(ミネルヴァ書房, 2015年), 『大原社会問題研究所雑誌』No.686, pp.78-81, 2015年12月

宇田川勝・四宮正親編『企業家活動からみた日本のものづくり経営史—わが国ものづくり産業の先駆者に学ぶ』(文眞堂, 2014年), 『イノベーション・マネジメント』No.13, pp.107-109, 2016年3月

[研究報告・研究発表]

「問題提起—鉄道技術者を中心に—」, 経営史学会第51回全国大会, 2015年10月11日, 大阪大学

[学外活動]

大阪産業労働資料館 運営委員 任命権者・大阪産業労働資料館長 2010年1月1日- (継続)

大阪市公文書管理委員会 委員 任命権者・大阪市長 2010年7月30日－（継続）
日本学術会議 連携会員 任命権者・日本学術会議会長 2011年10月3日－（継続）
政治経済学・経済史学会 理事 任命権者・政治経済学・経営史学会代表理事 2011年10月
22日－（継続）
企業家研究フォーラム 副会長 任命権者・企業家研究フォーラム会長 2012年7月31日－
2015年7月18日
社会経済史学会 常任理事 任命権者・社会経済史学会代表理事 2013年1月1日－（継続）
経営史学会 常任理事 任命権者・経営史学会会長 2015年1月1日－（継続）
企業家研究フォーラム 会長 任命権者・企業家研究フォーラム会長 2015年7月18日－

関口 優紀

[論文]

「企業内人材の事業創造効力感を高める行動特性」『一橋ビジネスレビュー』63巻1号, pp.180-193, 2015年6月

「日本企業本社における人事国際化の現状と課題」『多国籍企業研究』第8号, pp.93-113, 2015年12月, 牧美喜男・戎谷梓・関口優紀

“The effect of mobile technology usage on work engagement and emotional exhaustion in Japan,” *Journal of Business Research*, In Press March 2016, Yuka Fujimoto, Ahmed Ferdous, Tomoki Sekiguchi, T., & Ly-Fie Sugianto

[研究報告・研究発表]

“Human resource management and labor productivity in Indian firms: The influence of US-style versus Japanese-style HR practices,” The 9th Asia Academy of Management and 8th Taiwan Academy of Management Joint Conference, June 23, 2015, Hong Kong, China (with M. P. Maharjan)

“The impact of globalization on Japanese human resource management,” Showcase Panel: “What’s on Japan?” The 9th Asia Academy of Management and 8th Taiwan Academy of Management Joint Conference, June 24, 2015, Hong Kong, China

“Effective communication for the inclusion of foreign employees into Japanese firms,” The Special Session: AJBS-JAAS Collaboration, the Association of Japanese Business Studies (AJBS) 28th Annual Conference, June 26, 2015, Bengaluru, India (with A. Ebisuya & M. Maki)

“Employees’ perceptions at post M&A integration: Changing perceptions of interpersonal and procedural justice on organizational identification,” The Association of Japanese Business Studies (AJBS) 28th Annual Conference, June 26, 2015, Bengaluru, India (with R. Bebenroth and N. Kshetri)

“Why do Japanese companies establish a particular set of HR practices in India?” The Association of Japanese Business Studies (AJBS) 28th Annual Conference, June 26, 2015, Bengaluru, India (with M. P. Maharjan)

“Employees’ perceptions at post M&A integration: Changing perceptions of interpersonal and procedural justice on organizational identification,” The Annual Conference of Academy of International Business, June 29, 2015, Bengaluru, India (with R. Bebenroth and N. Kshetri)

“Leader-member exchange and organizational citizenship behavior across cultures,” The Annual Conference of Academy of Management, August, 2015, Vancouver, Canada (with D. Choi, M. Han, S. Yamao and J. E., Olsen)

“The review of language studies in international business: Suggestions and future directions for Japan,” 経営行動科学学会第18回年次大会, 2015年11月14日, 愛知大学 (with T. Liu)

「日本の職場で働く外国人従業員の定着と活躍に向けて：外国人従業員の離職意図と援助行動の要因分析」、経営行動科学学会第18回年次大会、2015年11月14日、愛知大学(安川小春と共に著)

「企業側から見たインターンシップの効果：企業魅力を高める要因に着目して」、経営行動科学学会第18回年次大会、2015年11月15日、愛知大学(見籠好隆と共に著)

“Target employee's perceptions at post merger integration: Interpersonal and procedural justice perceptions leading to organizational identification,” The International Symposium on Business and Social Sciences 2015, December 3, 2015, Tokyo, Japan, (with R. Bebenroth & I. Maimunah)

“Training multicultural employees in the headquarters: The case study of Indonesian employees in a Japanese multinational,” The 41st Annual Conference of European International Business Academy (EIBA), December 3, 2015, Rio de Janeiro, Brazil (with P. Setiawan & A. Ebisuya)

[学術賞]

第4回大阪大学総長奨励賞（研究部門） 大阪大学 2015年7月

大会優秀賞 経営行動科学学会 2015年11月 関口倫紀・安川小春

[学外活動]

関西学院大学大学院経営戦略研究科 非常勤講師 任命権者・関西学院大学学長 2007年4月
- (継続)

経営行動科学学会・学会誌編集委員 任命権者・経営行動科学学会会長 2008年- (継続)

Advisory Committee Member, Euro-Asia Management Studies Association 任命権者・President of the Euro-Asia Management Studies Association 2012年11月- (継続)

Associate Editor, *Applied Psychology: An International Review* 任命権者・Editor-in-Chief, *Applied Psychology: An International Review* 2013年1月- (継続)

Editorial Board Member, *Australasian Journal of Organisational Psychology* 任命権者・Editor, *Australasian Journal of Organisational Psychology* 2013年9月- (継続)

Guest Editor, *Asia Pacific Journal of Management* 任命権者・Editor-in-Chief, *Asia Pacific Journal of Management* 2013年12月- (継続)

経営行動科学学会・国際学術交流担当理事 任命権者・経営行動科学学会 会長 2014年4月
- (継続)

Guest Editor, *Asian Business & Management* 任命権者・Editor-in-Chief, *Asian Business & Management* 2014年8月- (継続)

Associate Editor, *Asia Pacific Management Review* 任命権者・Editor-in-Chief, *Asia Pacific Management Review* 2015年1月- (継続)

Secretary, Association of Japanese Business Studies 任命権者・President of the Association of Japanese Business Studies 2015年6月-

Editorial Board Member, *Cross Cultural & Strategic Management* 任命権者・Editor-in-Chief, *Cross Cultural & Strategic Management* 2015年6月-

京都大学経営管理大学院 非常勤講師 任命権者・京都大学総長 2015年10月- 2016年3月

椎葉 淳

[論文]

「業績目標としての経営者予想利益—契約理論に基づく理論研究の展開—」『立命館経営学』第54卷第5号, pp.37-52, 2016年2月

「コスト構造と企業リスク：近年の理論・実証研究からの示唆」『管理会計学』第24卷第2号, pp.19-32, 2016年3月

[研究報告・研究発表]

「コスト構造と企業リスク：近年の理論・実証研究からの示唆」，2015年度管理会計学会全国大会，2015年8月29日，近畿大学東大阪キャンパス

“What Moves Firm Values?”日本ディスクロージャー研究学会第1回JARDISワークショップ，2016年3月21日，県立広島大学，村宮克彦氏との共同論文

[学外活動]

日本管理会計学会 学会誌編集委員 任命権者・日本管理会計学会常務理事会 2014年4月1日－（継続）

鈴木 敦子

[著書]

「近世期における近江日野商人山中兵右衛門家御殿場酒店の経営」，青柳周一・東幸代・岩崎奈緒子・母利美和編『江戸時代近江の商いと暮らし—湖国の歴史資料を読む』，おうみ学術出版会，2016年3月31日，分担執筆

[論文]

「呉服太物の価格設定—奈良屋杉本家を中心に—」，*Discussion Papers In Economics And Business*，Graduate School of Economics and Osaka School of International Public Policy (OSIPP)，Osaka University，No.15-29，2015年11月

[研究報告・研究発表]

「江戸時代を駆け巡る関西の豪商たち」，大阪大学21世紀懐徳堂i-spot講座，2015年7月29日，大阪市まちづくり情報発信施設「アイ・スポット」

「呉服太物商の価格形成—近世期奈良屋杉本家を中心に—」，経営史学会第51回全国大会，2015年10月10日，大阪大学

[学外活動]

公益財団法人奈良屋記念杉本家保存会 古文書調査員 任命権者・公益財団法人奈良屋記念杉本家保存会理事長 2008年4月1日－（継続）

企業史料協議会くずし字研究会 講師 任命権者・企業史料協議会会长 2013年7月9日－（継続）

高橋 慎

[論文]

“Volatility and quantile forecasts by realized stochastic volatility models with generalized hyperbolic distribution,” *International Journal of Forecasting*, Vol.32, Iss.2, pp.437-457, online January 2016, 共著

[研究報告・研究発表]

“Price Impact, Flow Sensitivity and Volatility,” Hitotsubashi Summer Institute Workshop “Frontiers in Financial Econometrics”, 2015年8月4日，一橋大学

“Volatility and quantile forecasts by realized stochastic volatility models with generalized hyperbolic distribution,” CFE-CMStatistics 2015, December 13, 2015, University of London

[学位]

PhD in Finance, Department of Finance, Kellogg School of Management, Northwestern, December 18, 2015

高山 正樹

[著書]

『地域をさぐる』, 古今書院, 2016年3月10日, 分担執筆

[研究報告・研究発表]

「産業構造の転換と臨海部の再編」(経済地理学会大会シンポジウム趣旨説明), 経済地理学会大会, 2015年5月23日, 尼崎中小企業センター

“The Living Environment and Welfare Policy for the Elderly,” 2016 Urban Affairs Association, March 17, 2016, The Hilton San Diego Bayfront

[学外活動]

近畿都市学会 評議員 任命権者・近畿都市学会会長 1990年5月- (継続)

経済地理学会 評議員 任命権者・経済地理学会会長 2010年5月- (継続)

日本都市学会 監事 任命権者・日本都市学会会長 2013年4月- (継続)

経済地理学会関西支部 支部長 任命権者・経済地理学会会長 2014年5月- (継続)

竹内 恵行

[著書]

Nakamaki, H., Hioki, K., Mitsui, I., Takeuchi, Y. (eds.), *Enterprise as an Instrument of Civilization: An Anthropological Approach to Business Administration*, Springer, July 2015, (Chapter 8: Anthropological Research Methods in Business Administration: Migration and Translation Within the Social Sciences)

[研究報告・研究発表]

「UCL応用統計学科の教育内容と統計学者ネットワーク：1911-1933」, 統計関連学会連合大会, 2015年9月9日, 岡山大学

「UCL応用統計学科と 統計学者ネットワーク：1911-1933」, 関西計量経済学研究会, 2016年1月10日, 東京大学

“Enterprise as an Instrument of Civilization: a bridge between anthropology and business,” 第9回システム科学国際シンポジウム, 2016年3月13日, 東京工業大学

[学外活動]

一般社団法人日本統計学会 理事 任命権者・一般社団法人日本統計学会理事長 2013年6月- 2015年6月

谷崎 久志

[論文]

「東日本大震災が大阪市の住宅価格に与えた影響について：中古マンション価格を例にとって」
『大阪大学経済学』第65巻第2号, pp.39-55, 2015年9月, 保元大輔・谷崎久志

[学外活動]

日本統計学会・和文誌 編集委員長 任命権者・日本統計学会理事会 2013年6月- 2015年6月

日本統計学会 代議員 任命権者・日本統計学会 2015年6月-

2016年度統計関連学会連合大会(金沢大学) プログラム副委員長 任命権者・統計関連学会連合 2015年-

友部 謙一

[研究報告・研究発表]

“The constitution of cause-of-death statistics in modern Japan: the experience of standardization and implementation,” XVIIth World Economic History Congress (WEHC) August 3-7, 2015, Kyoto International Cultural Center, with Dr. Makoto Hanashima

“Fertility, infant mortality and economic development in Tokugawa Japan: subjective equilibrium of peasant household and market economy,” XVIIth World Economic History Congress (WEHC), August 3-7, 2015, Kyoto International Cultural Center

“Long-term interest rate changes in credit/loan markets and economic development during the Tokugawa period: With the special reference of Choshu-han domain,” XVIIth World Economic History Congress (WEHC) , August 3-7, 2015, Kyoto International Cultural Center, with Miho Tanaka

「絹・綿・女工：近代日本の結核罹患」，グローバル日本研究国際シンポジウム『開く日本・閉じる日本：人間移動学事始め』，2016年3月23日－24日，大阪大学Σホール（豊中），花島誠人と共同

[学外活動]

社会経済史学会 編集委員 任命権者・社会経済史学会 2007年1月1日－（継続）

社会経済史学会 理事 任命権者・社会経済史学会 2008年9月1日－（継続）

浦井 突

[著書]

『ミクロ経済学』，培風館，2015年10月15日

[学外活動]

数理経済学会理事（副会長）・評議員 任命権者・数理経済学会 2013年4月1日－任期終了

数理経済学会方法論部会幹事 任命権者・数理経済学会 2013年4月1日－

渡辺 泰明

[研究報告・研究発表]

「日米の公的年金資産運用に関する研究～GPIF and CalPERS～」，第253回MPTフォーラム，2015年7月2日，東洋経済新報社

“Public Pension Fund's Asset Allocation in terms of ALM and LDI : Evidence from both GPIF and CalPERS,” The 28th Australasian Finance & Banking Conference, December 18, 2015, Shangri-La Hotel Sydney

[学外活動]

Journal of Computational Optimization in Economics and Finance 論文査読委員 任命権者・*Journal of Computational Optimization in Economics and Finance*編集長 2008年11月－（継続）

Financial Analysts Journal 論文査読委員 任命権者・*Financial Analysts Journal*編集長 2009年2月－（継続）

日本スタンフォード協会 運営委員兼理事 任命権者・日本スタンフォード協会会长 2012年6月1日－（継続）

近畿大学経営学部 教授 任命権者・近畿大学理事長 2013年4月－（継続）

スタンフォード大学 客員教授 任命権者・スタンフォード大学米国アジア技術経営センター長 2014年1月－2016年3月

Wirawan Dony Dahana

[論文]

“Investigating the Influence of Prior Knowledge and Propensity to accept messages on Electronic Word of Mouth Effect,” *Proceedings of 2015 International Conference on Business and Information*, pp.1-23, July 7, 2015

[研究報告・研究発表]

「マルチ・チャネル顧客マネジメント：チャネルの利用状況と顧客価値に関する実証分析」, 日本マーケティングサイエンス学会, 2015年6月14日, 大阪府立大学

「ブランド選択に対するネット口コミの効果：事前知識と受容性向の影響分析」, 日本マーケティングサイエンス学会, 2015年12月12日, 株式会社電通

[学術賞]

Best Paper Award of 2015 International Conference on Business and Information, International Business Academics Consortium, July 7, 2015

平成27年度データ解析コンペティション JIMS合同部会 最優秀賞, 日本マーケティング・サイエンス学会合同部会, 2016年2月20日

研究奨励賞, 日本ソーシャルデータサイエンス学会, 2016年3月15日

許 衛東

[論文]

「海南島における天然ゴムプランテーション（国有農場）の確立過程からみた周辺地域の位相」, 第九回「現代中国と東アジアの新環境」国際シンポジウム論文集, pp.308-338, 2015年12月25-28日

[研究報告・研究発表]

「海南島における天然ゴムプランテーション（国有農場）の確立過程からみた周辺地域の位相」, 第九回「現代中国と東アジアの新環境」国際シンポジウム, 2015年12月25-28日, 中国吉林師範大学

[学外活動]

大阪観光大学 非常勤講師 任命権者・学校法人明浄学院理事長 2015年10月1日 -

山本 千映

[論文]

“Agricultural Surveys in Japan and England,” K. Kondo ed. *History in British History: Proceedings of the Seventh Anglo-Japanese Conference of Historians*, pp.141-165, July, 2015, with Manabu Ozeki

[その他]

学会展望・学会消息「ケンブリッジ歴史人口学研究グループの50周年記念学会」『人口学研究』Vol. 38, No. 1, pp.33-38, 2015年6月

[研究報告・研究発表]

“Reading and Writing Skills during the Industrial Revolution: a case study through quarter sessions records,” the 17th World Economic History Congress, Kyoto, 2015年8月7日, 京都国際会館

[学術賞]

第4回大阪大学総長奨励賞（研究部門） 大阪大学 2015年7月

[学外活動]

社会経済史学会 幹事 任命権者・社会経済史学会代表理事 2009年1月 - (継続)

第17回世界経済史会議 2015, 京都, 国内組織委員(広報) 任命権者・世界経済史会議 2015,
京都, 国内組織委員長 2013年4月-2016年3月

山本 和博

[研究報告・研究発表]

“Elastic labor supply and agglomeration” 62nd Annual North American Meeting of the Regional Science Association International, November 11-14, 2015, the Hilton Portland Hotel

“Does Globalization Foster Economic Growth?” *Japanese Economic Review*, Vol. 66 No. 4, pp. 492-519, December 2015, Tadashi Morita, Hajime Takatsuka, Kazuhiro Yamamoto

山本 達司

[著書]

『スタンダードテキスト管理会計論(第2版)』中央経済社, 2015年10月25日, 分担執筆
[研究報告・研究発表]

“The Relationships between Earnings Management and Ownership Retention in IPO,” 行動経済学会, 2015年11月28日, 近畿大学, Co-authored with S. Taguchi and K. Miwa

“Do Lower R-squared Values Signify Informativeness or Noise? Evidence from the Great East Japan Earthquake,” 日本会計研究学会関西部会, 2015年12月12日, 大阪市立大学, Co-authored with K. Muramiya and T. Yamasaki

“Strategic Commitment and Lying: An Experimental Study on the Interaction between Entrepreneur and Underwriter,” The 6th International Conference of The Japanese Accounting Review, 2015年12月19日, 神戸大学, Co-authored with S. Taguchi and K. Miwa

“Are IPOs Overpriced? Strategic Interactions between the Entrepreneur and the Underwriter by Lying,” Tokyo Accounting Workshop, 2016年3月11日, 東京大学, Co-authored with S. Taguchi and K. Miwa

[学外活動]

日本管理会計学会 学会誌常任編集委員 任命権者・日本管理会計学会 2008年4月- (継続)

The Japanese Accounting Review, Associate Editor 任命権者・*The Japanese Accounting Review* 2011年2月- (継続)

同志社大学現代社会学部 非常勤講師 任命権者・同志社大学現代社会学部 2014年4月1日- (継続)

日本経営分析学会 学会賞審査委員 任命権者・日本経営分析学会 2014年11月7日- (継続)

日本ディスクロージャー研究学会 理事 任命権者・日本ディスクロージャー研究学会 2015年4月1日- (継続)

第9回行動経済学会プログラム委員 任命権者・行動経済学会 2015年5月-

龍谷大学経営学部 非常勤講師 任命権者・龍谷大学経営学部 2015年10月1日-

日本ディスクロージャー研究学会JARDIS ワークショップ・プログラム委員 任命権者・日本ディスクロージャー研究学会 2015年12月-

安田 洋祐

[著書]

『図解 ピケティ入門 いちばんやさしい『21世紀の資本』の読み方』, 彩図社, 2015年4月, 監修

[論文]

“Comment on “Asian Participation and Performance at the Olympic Games”,” *Asian Economic Policy Review*, Vol. 11, No. 1, pp. 93-94, January 2016

[研究報告・研究発表]

“Economics of the Rich and the Poor / Reformulation of Nash Equilibrium and an Application to Interchangeability,” IGDP 2015 Workshop, June 2015, Universitat Autònoma de Barcelona

“Reformulation of Nash Equilibrium and an Application to Interchangeability,” Summer Workshop in Economic Theory, 2015 年 8 月, 小樽商科大学

「マーケットデザイン入門—情報を活かした社会・制度の仕組み作り」, 経営情報学会秋季全国研究発表大会, 2015 年 11 月, 沖縄コンベンションセンター

“Equitable Market Design,” Market Design Workshop, 2016 年 3 月, 大阪大学社会経済研究所
[学外活動]

関税政策等研究会 任命権者・財務省関税局 2012 年 4 月 - (継続)

財政・マクロ経済研究会 任命権者・財務省財務総合政策研究所 2012 年 4 月 - (継続)

金融市场調査会 任命権者・東京金融取引所 2012 年 4 月 - (継続)

金融審議会専門委員 任命権者・金融庁 2014 年 4 月 - (継続)

サービス学将来検討会 任命権者・科学技術振興機構 2014 年 4 月 - (継続)

ICT ビジネスの変革と競争戦略に関する研究会 任命権者・情報総合通信研究所 2015 年 4 月 -

非常勤講師 任命権者・神戸大学大学院経済学研究科 2015 年 9 月, 夏期集中講義(9 月 3 日, 4 日)を担当